



開催日	令和6年8月24日(土)	行政区	小福田	参加人数	14名
時間	午後1時30分～2時30分	関係機関	五霞土地改良区、茨城むつみ農協五霞支店、 農地中間管理機構、坂東農業改良普及センター		

当日出た意見

- ・後継者がいない、生産コストが高いため、機械の買い換えが出来ない。
- ・自分の農地は自分で守りたい気持ちもある。
- ・草の管理に経費も労力もかかりすぎていて、経営を圧迫してきている。
- ・宅地付きの小さい農地や、条件不利な小さな農地をどうしたらよいのか。
- ・地域として、品種を変えて酷暑にも耐えうる作物を作付けし、営農できる形をとるのもよいのでは。
- ・水管理は所有者、作業は担い手などの作業分担をして、お互いに協力し合うのはどうか。
- ・大規模農家の意向を中心に圃場整備をし直すのはどうか。
- ・地先管理も負担になってきている。
- ・担い手が受けやすいように、区画を大きくするなど整備して、集約していく方向がよいのではないか。

当日の様子

